

## オフサイトミーティング

### 「頑張れKTR！こうしたら良くなる？」第1回開催結果

**KTR**は、京都府北部の丹後地域と兵庫県北東部の但馬地域を**快走**する第三セクター鉄道です。

本年は、宮津線の全線開通から75年目となり、また、来年度は宮福線開業20周年、更に、平成21年には**KTR**として創業20周年を迎えます。

節目の年を迎え、**色々頑張るKTRですが**、その経営は非常に厳しい状況ではあります。**KTRを「どうしたら、良くなるか？、みんなで応援しよう！」**というコンセプトで、自由な意見、提案を求めて、**オフサイトミーティング「頑張れKTR！こうしたら良くなる？」**を開催いたしました。

今回のミーティングには、参加者から色々な**アイディア**や想いが寄せられました。

このような機会を、是非、今後とも続けて行きたいと考えておりますので、皆様の参加をお待ちしております。

#### 【実施日時等】

日 時：平成19年7月3日(火)

午後6時～8時

場 所：府庁NPOパートナーシップ  
センター会議室

参 加：16名

参加者所属：企画環境部企画課、交通対策課、  
連絡調整チーム、職員総務室、  
地域福祉室、医療保険室、観光  
コンベンション室、府立大学会計課

※自己紹介・自由発言を中心に交流型として実施。



#### 【主な発言内容】



##### ① KTRをどう見ているか

- ・ 企画列車の運行や沿線への本社移転など、努力され改善されてきている。
- ・ 小さい時からどこに行くのもKTRであった。両親ともKTRを利用するようになり、最近は必要性を特に感じる。
- ・ ヨーロッパでは、トレインはパブリックセクション。税金で維持することは当然と聞いた。セーフティネットとして見れば、生活道路と同様で、税金投入も問題ないのではないか。

- ・ ダイヤ改正後、宮福線でパターンダイヤが実施。すごいこと。大変な労力と思う。
- ・ 時刻表に今回は企業の広告を掲載している。従来に無かった営業努力は評価できる。
- ・ 府民にKTRの存在を知ってもらうことから始めるべき。(例、小学校の授業など)
- ・ 廃止か存続かの時は、存続させようと地元は盛り上がった。地元の熱意が問われている。



## ② KTR等への提言

- ・ 特急を神戸等まで運転距離を伸ばす。宮津線と舞鶴線の接続改善、直通運転増。
- ・ 車両のペインティング等、子供の楽しめるものにする。
- ・ トロッコ列車、SLやトンネルイルミネーションの取組。列車に乗ること自体が観光になるようにするべき。
- ・ KTRの利用に際して、他の手段(車、自転車など)との併用も考慮する。



- ・ とり貝など「食」で呼べないか。キノコ列車(キノコ弁当)や宴会列車など、付加価値をどう付けていくか。

- ・ マスコミ関係への働きかけをもっと広報課と連携してPRをすべき。
- ・ 「悠遊号」を平日も運行してはどうか。
- ・ カニの季節に「お買物列車」として、駅に停車(30分~1時間)して買い物時間を確保したら。
- ・ ローカル線の強みを発揮し、観光に特化が必要。
- ・ 箱根観光鉄道は沿線の紫陽花が有名であるが、その世話は社員がしている。また、嵯峨野観光鉄道を見ていると、社長を先頭にサービス精神が素晴らしい。社員の意識改革が求められている。
- ・ 企画切符や「悠遊号」など様々取り組まれているが少なくとも3~5年のスパンでやること必要。
- ・ 若手で営業関係も採用すべき。また、辞めないように育てて欲しい。褒めることが重要。
- ・ 出来るところから、1つ1つ改善をしていくべき。
- ・ マイレール意識の高揚を! 沿線市町の住民の意識向上が必要。



表面

- ・ 地域の人々に選ばれてこそKTRである。褒めることが大事ということがあったが、KTRについても良かったと思ったことは褒めることも必要である。ハガキ1枚でも出すようにしよう。

